

スクールサポーターの任務・設置効果について

少年の非行防止・立直り支援等

- 学校への訪問、指導助言
- 街頭補導活動
- 有害環境等の浄化



学校等における児童等の安全点検

- 学校の施設・設備の点検及び助言
- 学校周辺のパトロール
- 防犯ボランティア団体との連携



スクールサポーター ～学校・地域とのパイプ役～

非行・犯罪被害防止教育の支援

- 防犯教室・学校への不審者侵入訓練
- 非行防止教室
- 薬物乱用防止教室



地域安全情報の把握と提供

- 子どもを対象とした犯罪、不審者等に関する情報の把握
- 把握した情報の学校、地域住民等への積極的な提供
- 非行等問題行動に関する情報の把握と学校警察連絡協議会等への情報提供



学校及び地域における非行防止、児童等の犯罪被害防止を図る。

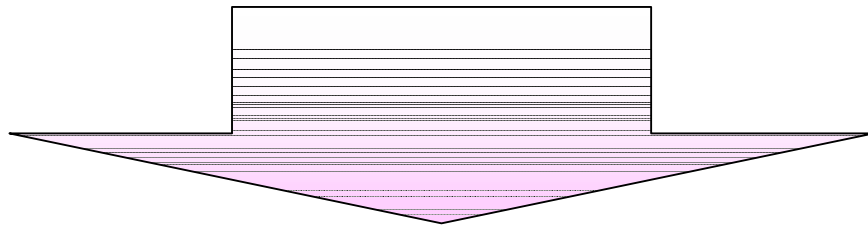
STSを活用した育児支援輸送サービスのあり方

利用者のニーズ

- ・日常的に輸送サービスを利用したいが、金銭的負担が大きい。
- ・直前の予約を可能とし、突発的な利用にも対応してもらいたい。
- ・チャイルドシートの適切な装着、ドライバー指名、送迎確認等、安心して任せられるようにしたい。

タクシー事業者の課題

- ・タクシー乗務員の負担、時間的制約が大きく、採算性がとれない。
- ・直前の予約への対応等を図るには、対応できる乗務員の確保、乗務員への教育等、負担が大きい。



タクシー事業者の育児支援サービスへの対応

利用者ニーズに対応したサービスの提供

・相乗りシステムの導入

利用者、事業者双方にとって納得感がある料金設定が可能

・タクシー事業者間の連携・協力による運行

利用者ニーズに対応した迅速・効率的なサービスの提供が可能

・安全性の確保

運行中の子供の安全確保、送迎確認の徹底、事故時の対応等

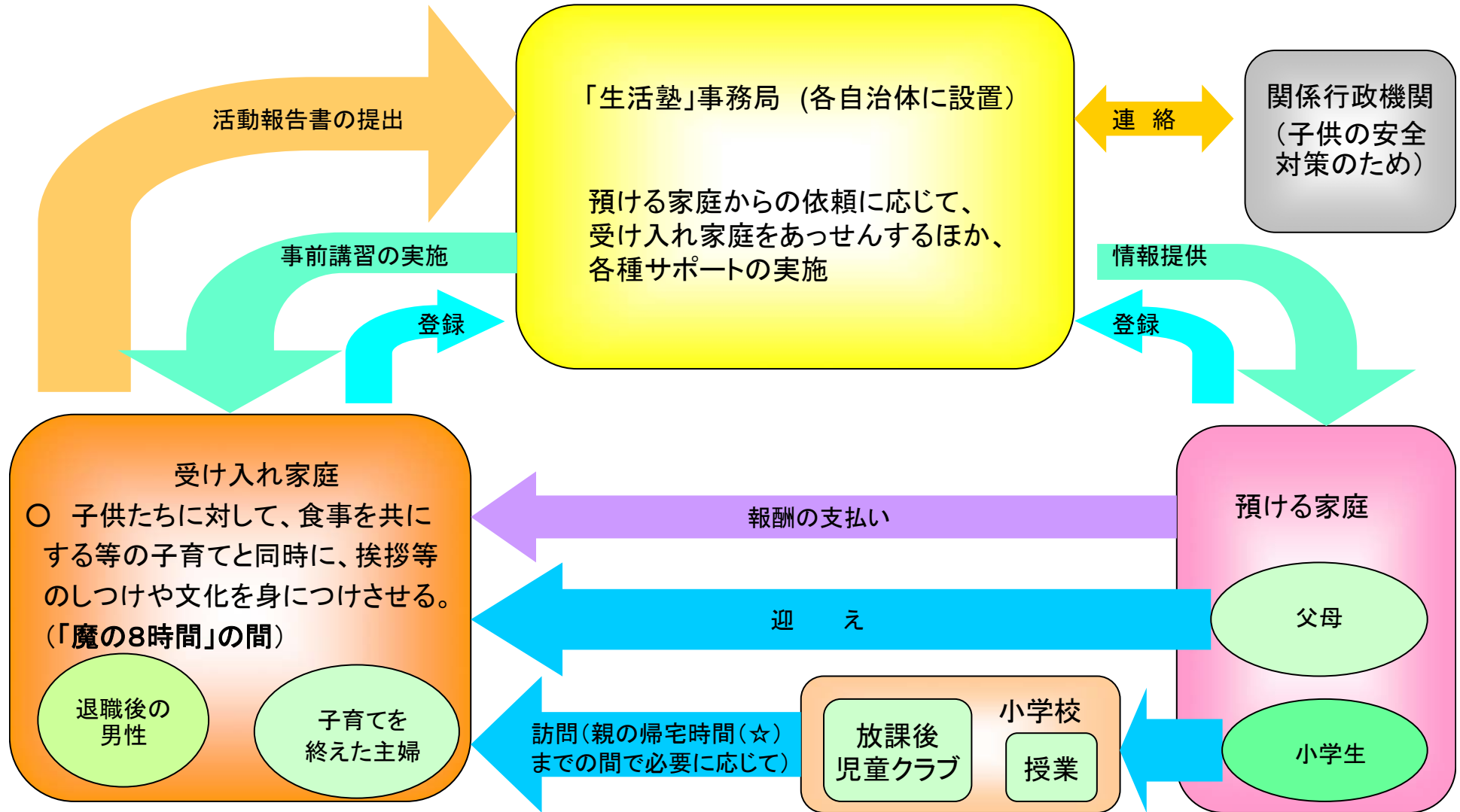
育児支援サービス提供者との連携

タクシー事業者と育児支援サービス提供者との連携をコーディネートする主体・仕組みの構築。

利用者・社会に対する認知度の向上

サービスの安全性、利用者の負担軽減についてアピールするなど、サービスのPRを充実。

「生活塾」モデル事業のイメージ



☆ 職住近接地域では19～20時、それ以外では21～22時頃